



UHC-HD
設置、運用マニュアル
3、6-列モデル

 **Frymaster**[®]



Frymaster (Commercial Food Equipment Service Association メンバー) は CFESA 認定
技術者の起用を推奨します。

* 8196595 *

24 時間 サービス ホットライン +1-800-
551-8633 (米国)

E メール : service@frymaster.com

価格 : \$6.00

819-6595

FEB 12

注意

本保証期間中において、お客様が、本MANITOWOC 機器に、FRYMASTER 社/DEAN 社、あるいはそのいずれかの認証サービス センターより直接購入した未改造の新品の部品あるいは再生部品以外の部品を使用された場合、および/あるいは、その当初の構成から改造されている部品を使用されている場合は、本保証は無効となります。さらに、FRYMASTER 社/DEAN 社およびその関連団体は、いかなる改造部品および/あるいは非承認のサービス センターから受領した部品の取り付けに起因する、直接的あるいは間接的、全体的あるいは部分的に引き起こされたいかなる請求、損害あるいは出費に関して責任を負いません。

本 UHC-HD は野外での使用には適していません。本ユニットを運用する場合には、水平な平面上に設置される必要があります。

本 UHC-HD は、ウォーター ジェットの使用が可能な場所での設置には適していません。本設備は、ウォーター ジェットで洗浄してはいけません。

お客様の安全のために

本機器あるいは他のいかなる機器の付近にて、ガソリンあるいは他の可燃性蒸気および可燃液体を保管あるいは使用しないこと。

本マニュアルを最初に読むことなく、本 UHC-HD を操作したりサービスを行わないこと。

本 UHC-HD に適切な設置および検査が行われていない場合には、運用を行わないこと。

本 UHC-HD のすべてのサービスおよびアクセス パネルの取り付けおよび適切な固定がなされていない場合には、運用を行わないこと。

本ユニットへのすべての電源が切り離されていない限り、本 UHC-HD の修理あるいはいかなる部品の交換を行おうとしないこと。

本 UHC-HD を設定、運用、あるいは洗浄する場合には、加熱した表面への接触を避けたための注意を払うこと。

本 UHC-HD を持ち上げる場合には注意を払うこと。本ユニットの重量は、90 KG あります。3 名~4 名にて、標準の安全な持ち上げ手法を用いて本キャビネットを取り扱うことが必要です。

UHC-HD



目次

章	ページ
サービス、保証	1-1
商品トレイ	1-3
電源投入	2-1
運用の概観	3-1
列の設定の変更	3-2
スロットをオフにする	3-3
プログラム	3-5
保守	4-1

1 ユニバーサル ホールディング キャビネット

フライマスター ユニバーサル ホールディング キャビネット (UHC-HD) は、広範な種類の調理済み食品の新鮮さを保持するための短期間のホールディング デバイスとして、マクドナルド社のために特別に開発および製造されました。UHC-HD は、マクドナルド社のすべての安全、効率および清潔度の標準に合致しています。

1.1 保証声明書

- A. フライマスター有限責任会社 (Frymaster L.L.C.) は、本機器およびその交換部品についてその当初購入者に対してのみ以下の限定された保証を行うものである。

1.1.1 保証規定 - ユニバーサル ホールディング キャビネット

- A. フライマスター有限責任会社は、2 年の期間にわたり、材料および製造での欠陥に対しすべての部品を保証します。
- B. すべての部品は、ただしフューズは例外として、キャビネットの設置日付より 2 年の期間にわたり保証されます。
- C. 設置日付から当初の 2 年間は、フューズは除外した、いかなる部品にも欠陥が生じた場合は、フライマスターは、またその部品交換のための基本労働賃金を負担し、160 km (片道 80 km) までの出張を追加するものとする。

1.1.2 部品の返却

- A. すべての欠陥部品は、60 日間の猶予期間内にフライマスター認定工場サービス センターに返却される必要がある。60 日以後は、いかなる猶予も認められないものとする。

1.1.3 保証の除外

本保証は、誤用、濫用、改造あるいは以下の事故により損傷された機器は含まれないものとする：

- 不適切あるいは非認定の修理行為、
- 適切な設置指示および/あるいはお客様の MRC カードに記載された定期保守手順への不履行、
- 不適切な保守行為、
- 搬送時での損傷、
- 異常な使用、
- 定格プレートの除去、改変、あるいは消滅。

本保証はまた以下をも含まれないものとする：

- 160 km (片道 80 km) を越える輸送および出張、あるいは 2 時間を越える出張、
- 残業あるいは休日手当て、
- 必然的な損害 (修理あるいは損傷した他の資産を交換する費用)、逸失時間、利益、あらゆる種類の使用目的あるいは他のあらゆる付随的損害。

UHC-HD

どのような特定の使用目的に対しての暗黙の保証あるいは商品適合性あるいは適合性はありません。

国際保証に関しては、お客様が配送および通関に関する責任を負われることを除き、上記の手順が適用されます。

部品注文およびサービス情報

部品注文は、お客様のお近くのフライマスター認定機関（ASA）/配給会社に直接の注文が可能な場合もあります。フライマスター ASA/配給会社のリストは、工場出荷時にキャビネットに同梱されています。このリストがお手元にはない場合には、フライマスター サービス部門、+1-318-865-1711（+1-800-24-FRYER（米国内無料番号））までご連絡ください。

ワイヤー/プラスチック トレー類、スタッキング キット、カート類、およびキャスター類はお客様のお近くのキッチン設備配給会社（KES）にて注文しなければならないことにご留意ください。フライマスターは、これらのアクセサリ アイテム類は供給しません。

お客様の迅速な注文のためには、以下の情報が必要となります：

モデル番号 _____
シリアル番号 _____
電圧 _____
アイテム部品番号 _____
必要な数量 _____

サービスは、お客様のお近くの認定サービス センター/配給会社への連絡で手配可能な場合もあります。サービス情報は、フライマスター サービス部門へのお電話で入手可能な場合もあります。お客様を迅速かつ効率的に支援するために以下の情報が必要となります：

モデル番号 _____
シリアル番号 _____
問題の特徴 _____

また、お客様のサービス問題を解決するために有用と考えられる他の情報もお寄せください。

本マニュアルは、将来の使用に備えて安全な場所に保持および保管してください。

1.2 商品トレイ

3つのトレイ サイズがあります。特定の商品容積および推奨ホールディング サイズおよび保持時間に関しては、付録 A および C をご参照ください。以下で記載される特定の商品に対して設計されたトレイを使用してください。

A. **1/3-サイズ プラスチック トレイ** – グリルされた、肉類および卵製品（ハンバーガーパティ、ベーコン、卵、ソーセージ等）の保持 グリル商品の保持に関しては、2つの重要な手順があります：

- その製品は、グリルから引き上げた場合に油・水切りを行わないこと。
- その商品が適切なトレイ内におかれる場合には積み重ねられていること。10-1 およびソーセージ パティは、6 段まで積み重ねが可能であること。卵類（スクランブルド エッグは除外する）、グリル チキンおよび 4-1 パティは、3 段までの積み重ねが可能であること。

B. **1/2-サイズ ワイヤー トレイ** – 揚げ物商品を保持する（チキンマックナゲット、マックチキン、フィレオフィッシュ等）揚げ物商品を保持する場合には、この重要な手順を忘れないこと：

- 揚げ物商品は、ワイヤー ラック上で保持されるべきであること。本ラックは、揚げかすトレイ上に配置されなければならないこと。これらのトレイには、トレイ ライナーが不要であること。

C. **フル-サイズ プラスチック トレイ** – 焼き物商品を保持する（ビスケット、マフィン等）焼き物商品については、これらの手順を遵守すること：

- オープンからビスケットを取り出されたら、ラッパーを取り除いて包装箱を開封すること。
- トレイ内にトレイ ライナーを敷いて、ライナー上にそのビスケットを滑らして移動すること。ビスケット トレイは、30 個までの冷凍ビスケット、20 個までのスクラッチ ビスケットあるいは20 個までのマフィンが保持できること。

重要な運用の秘訣

キャビネット内にトレイを配置する場合に、そのトレイ ハンドル上の列の線がその列の縁と一列になるのを確認すること。

破損あるいは損傷しているトレイは廃棄すること。

トレイより使用分を取り出す場合には、トレイを必要な最大の位置までスライドさせた後速やかにスロット ラインへトレイを戻すこと。

UHC-HD

1.3 グリルクリップの取り付け

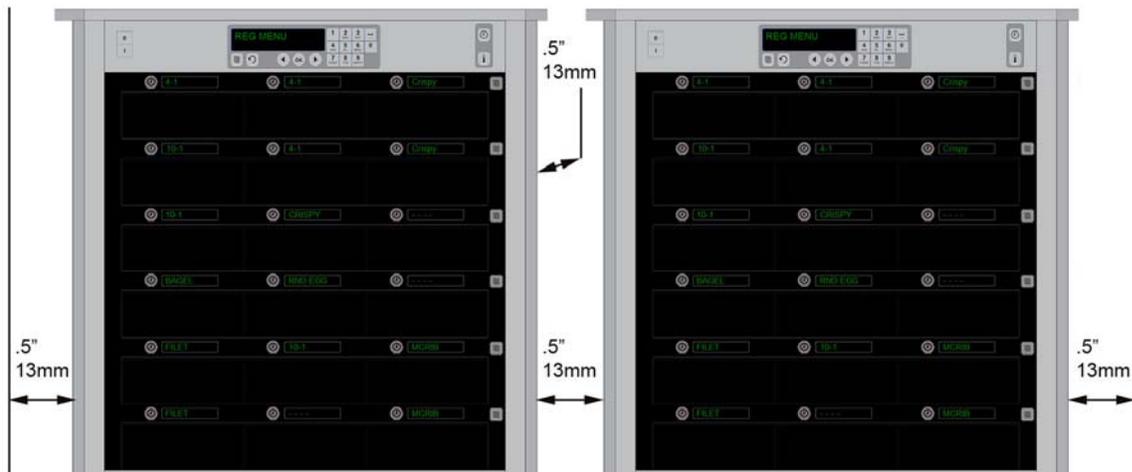
本グリルクリップは、1/3 サイズグリルトレイの保持のために設計されています。これはグリルから UHC への移送を迅速かつ安全に行うためにグリルに取り付けます。

- グリル クリップ前面をグリルの口の下に配置します。
- 本クリップの後部をその溝がグリル バーの上に落ち着くまで下げます。本グリル クリップは、グリルの前面上に完全に固定していなければなりません。本クリップを、上手くはめ込めない場合には、単純に本クリップ下部の 4 個のナットを緩めて、そのバーに対し固定されるために必要なだけスライドで増減させます。本クリップが適切に調整された後、このナットを締めます。



本グリル クリップは、グリルに取り付けられ UHC-HD トレー内でグリル商品を保持しホールディング キャビネットへの移

使用注意事項 本 UHC-D を持ち上げる際の使用注意事項。本ユニットは重量が 90 K キログラムあります。本キャビネットの取り扱いには、3 ~ 4 名での標準の安全な持ち上げ手段の使用が必要となります。



2 電源投入

すべての電氣的に運用される装置は、現地規定、あるいは現地規制が存在しない場合には米国国家電氣規定、ANSI/NFPA NO. 70-1990 に準拠して電氣的に接地される必要がある。

A. 電源要求事項：

- 電圧 – 208/240 VAC
- 2620 ワット @ 208V – 3420 ワット @ 240V
- 電源周波数 – 50/60 Hertz
- 単相
- 20 アンペア 供給

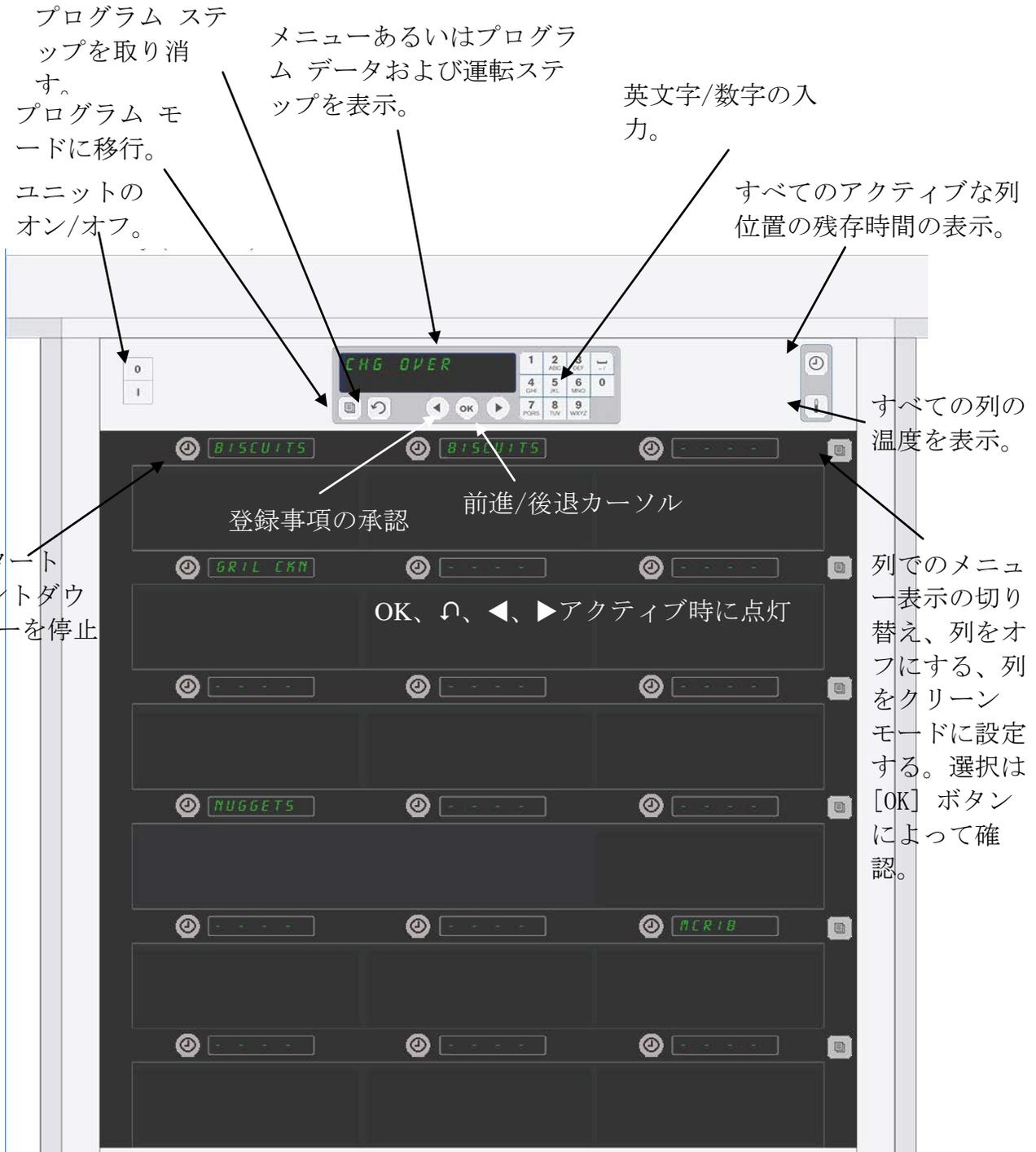
本装置は、電撃の危険に対して使用者保護のために 3 ピンの接地プラグが装備されており、適切に接地された 3 ピンのコンセントに接続される必要があります。本プラグから、この接地ピンを切断したり取り除いたりしないこと。

すべてのユニットは、接地された電源供給システムに接続されなければなりません。

- B. ユニバーサル ホールディング キャビネット HD を電源につなげます。
- C. 電源スイッチを、ON の位置に移動します。
- D. 列の温度を監視します。本列の環境（室）温から 68°C の設定温度までの加熱にかかる時間は約 30 分となります。

3 運用の概観

本ユニバーサル ホールディング キャビネット-HD (UHD-HD) は、各列が 3 個の商品のトレイを保持する 6 個の列、あるいは各列が 3 個のトレイを保持する 3 個の列があります。各列位置には、商品および各トレイ位置の保持時間を表示する表示部があります。



UHC-HD

UHC-HD は、梱包から取り出した時点で、スロットは通常メニューに設定されているため、運用可能です。

3.1 キャビネット運転

1. 電源スイッチをオンにします。
2. 表示が点灯して、「**LOW TEMP**」(低温度)と示されます。本キャビネットが該当温度の場合、商品名に変更されます。
3. 適切な列に商品を装填して、タイマー ボタンを押します。最も明るい表示が、最小の保持時間のスロットを示します。
4. 列の一番右側のモードキーを押して、その列のメニューを変更、その列をオフ、あるいはその列をクリーンモードに設定します。[OK] ボタンを押して変更を受け入れます。

3.2 タイマー運転



明るいボタンおよび明るいメニュー アイテム表示は本列の位置が最初に使用されることを示します。列の位置上の明るいボタンはそれがアクティブであることを示しますが、最小残存保持時間の位置ではありません。それが最小残存保持時間になった場合には、そのメニュー名が明るくなります。

目的スロットに隣接するタイマー キーを押します。そのボタンが明るくなり、もしそれが最初のあるいはそのメニュー アイテムの唯一の選択肢である場合には、その商品名もまた明るくなります。そのメニュー アイテム表示の明るさが、最小残存保持時間の位置を示します。それらのボタンが押されるとそれと同一の商品の位置上のボタンが明るくなります。最小残存保持時間の列位置に達するまでは、メニュー名は暗いままです。

タイマー表示順序

- 明るいボタン、最小保持時間での列上の明るい表示、同一商品での列位置の明るいボタン。
- 「**COOK NOW**」(調理を実行)
- タイマー サイクルの最後の連続ビープと共に **HHHHH** が表示されます。タイマー ボタンを押してアラームをキャンセルします。

タイマーの停止

列位置の隣のタイマー キーを押してタイマーをオフにする。タイマーが停止して、タイマー ボタンが暗くなります。次の適切な列位置の表示が明るくなります。

3.3 列の設定の変更

本キャビネットの右側の列モード ボタンを押します。選択した列の表示が、メニュー選択、クリーンモードおよびオフの順番で表示します。目的の選択肢が表示されたら、キーパッド上の [OK] ボタンを押します。マスター コントロールがメニューの選択肢を表示するか、あるいは本キャビネット上に1つ以上のメニューがある場合には「**MEd**」(混合メニュー)を表示します。

3.4 「Cook Now」(調理を実行)プロンプト

特定の商品の最後のトレイの時間切れに先立ち、プリセット時間で「Cook Now」(調理を実行)プロンプトがこの時点で表示されます。認証は不要です。「**cook now**」(調理を実行)の表示が必要な商品の調理の延長を催促するために機能します。

3.5 クリーンモードの使用

クリーンモードが表示されるまで、メニューキーを押します。[OK]キーを押します。アクティブなタイマーが存在する場合には、本キャビネットはメニューキーでのクリーンモードが選択されることを許可しません。アクティブなタイマーがない場合、クリーンモードの選択はキャビネット全部をクリーンモードに移行します。

すべての列位置で名前が変更されます。すべての列の設定温度が、52°Cになります。表示は、「**SLOT CLN MODE**」(スロットクリーンモード)および、スロットの温度が52°Cに達するまで、「**NOT SAFE YET**」(まだ安全でない)を表示します。表示が「**CLERn**」(クリーン)になります。

3.6 スロットをオフにする

「OFF」が表示されるまで、列の一番右側のモードキーを押します。キーパッド上の [OK] キーを押します。

3.7 保持時間の減少

アクティブスロット上のタイマーキーを押したり離したりすることで、5分刻みで保持時間を減少させることが出来ます。これを実行してアイテムの別のホールディングキャビネット内での保持されていた時間分を差し引きます。

3.8 温度表示

キャビネット上の温度ボタンを押すと、表示部の左列が上部および下部の温度を示します。

- 上部プレート温度
- 下部プレート温度

3.9 温度アラーム

4個の温度アラームがあります：

UHC-HD

- 高温度
- 低温度
- センサー
- 立ち上がり時間

アラーム条件が発生した場合には、音声アラームの音声および表示部がその商品選択とアラームメッセージを繰り返します。スロットがアラームメッセージを表示している場合には、タイマーは開始することが出来ません。

3.9.1 高温度および低温度アラーム

そのスロット温度が、選択した商品の範囲以上あるいは以下である場合には、表示部は、「SLOT TEMP HIGH」(スロット温度超過)または「SLOT TEMP LOW」(スロット温度未達)を表示します。アラームが鳴ります。タイマーキーを押してアラーム音を切ります。アラーム音は、最初のキャビネットスタートアップの際には鳴りません。

3.9.2 センサー範囲アラーム

センサー不良アラームは、そのスロットの 32~121°C の範囲を超過したあるいは未達のセンサー温度値を表示します。アラーム音が鳴ります。その表示メッセージは、「SENS ALRM」(センサーアラーム)です。タイマーキーを押してアラーム音を止めます。センサー音の補整には、サービスが必要です。

3.9.3 立ち上がり時間アラーム

立ち上がり時間アラームは、立ち上げ後のプリセット時間以内にそのスロット温度が運用温度に達しなかったことを表示します。その表示メッセージは、「SLOT RISE RATE」(スロット立ち上がり率)です。アラーム音が鳴ります。タイマーキーを押してアラーム音を切ります。立ち上がり時間アラームの補整には、サービスが必要です。

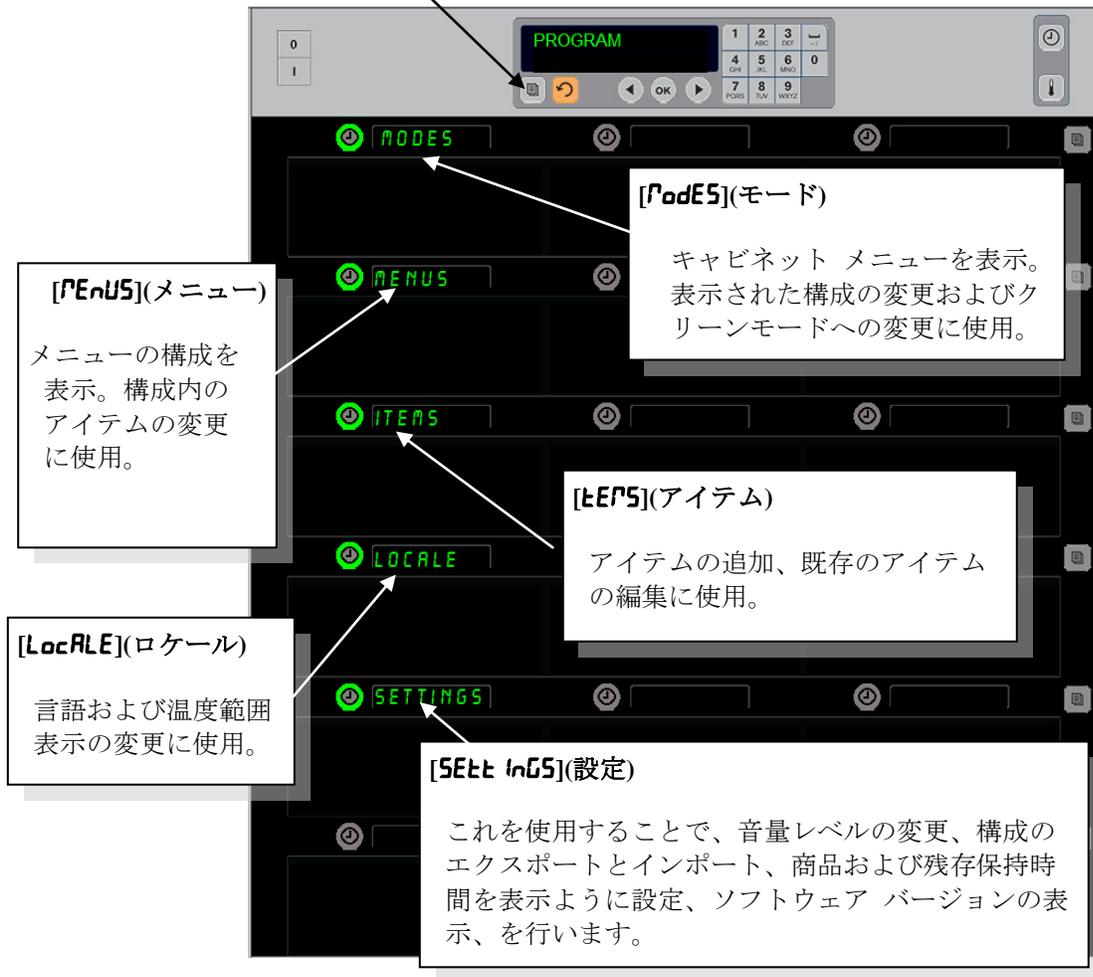
3.9.4 追加の許容誤差逸脱表示

表示部の「HHH」は、センサー不良を示します。サービスが必要です。

「LLLL」はセンサー不良あるいはスロットが 10°C より低いことを示します。スロットを 10 分間運転させてください。まだ「LLLL」が表示される場合には、サービスにご連絡ください。

プログラム概観

プログラム キーを押しながら、コードを入力することで、以下の注釈されるように、本キャビネットの5つのエリアにアクセスします。



プログラムには、キーパッドおよび列の左の段のタイマー ボタンの使用が必要です。キーパッドのプログラム ボタンを押して、コードを入力すると本キャビネットの表示部が変化します (上部に表示)。

マスター コントロール上で表示されるプログラムでは:

- [Modes](モード) の横のタイマーを押すことで、メニュー構成およびクリーンの表示。
- [Menu](メニュー) の横のタイマーを押すことで、そのメニュー構成を変更。
- [Item](アイテム) の横のタイマー キーを押すことで、メニュー アイテムの追加あるいは既存アイテムの削除または編集。
- [Locale](ロケール) の横のタイマー キーを押すことで、表示言語あるいは温度範囲を華氏表示から摂氏表示に変更。

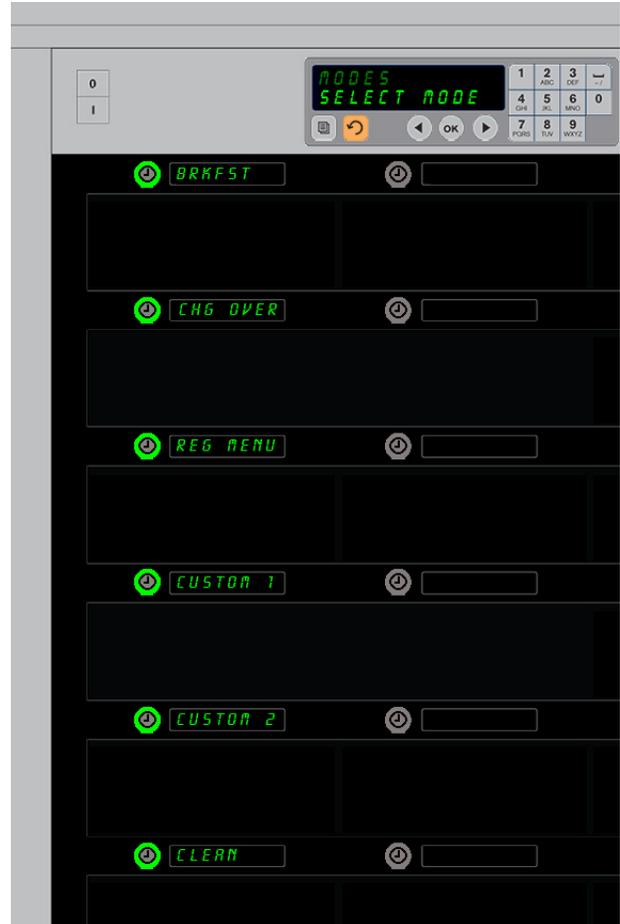
UHC-HD

- [Settings](設定)に隣接するタイマー キーを押すことで、音量の調節、商品および最小残存保持時間の列位置表示の変更、機能のエキスポートとインポートの構成のアクセス、ソフトウェアのバージョン番号の表示、を行います。それぞれの場合に、ボタンが押されることでキャビネット列位置上の単語も変化します。選択されたメニューに関連したアイテムが表示されます。指示がキーパッド表示部にスクロールします。

モード変更

これを使用することで、本キャビネット上のメニューを全体的に変更します。

1. プログラム ボタンを押します。
2. 「Enter Access Sequence」(アクセス順序を入力)が表示されます。
3. 「1955」を入力します。
4. [OK] キーを押します。
5. 「Modes」(モード)の横の明るいキーを押すと、表示部の最初の欄が5つのメニューとクリーンに変わります。
6. 目的のメニューを押します。
7. すべての表示が選択されたメニューを表示します。コントローラがスクロールして、[OK] を押してモード変更を確認します。
8. [OK] を押します。
9. コントローラ表示が、「chg complete」(変更完了)になります。矢印キーは、明るくなったままです。
10. [↶]キーを3回押して、本キャビネットをこの選択されたメニューでの運転に復帰します。



注：これによりすべての列上のキャビネットメニューが一度に変更されます。個別の列は、各列の右側の列ボタンの使用により変更することが出来ます。

メニュー内の表示アイテムの変更

1. プログラム ボタンを押します。
2. 「EntEr AccESS SEQUEncE」(アクセス順序を入力)が表示されます。
3. 「1955」を入力します。
4. [OK] キーを押します。
5. メニュー表示に隣接する [Timer](タイマー) ボタンを押します。
6. 本キャビネットの表示部の左の段が、メニューの選択肢に変わります。
7. 目的のメニューを押します。
8. そのメニューの現在の構成が表示されます。
9. 変更されるべき位置のタイマー キーを押します*。
10. 明るくなっているタイマー キーあるいはコントローラ上の [◀▶] キーで選択肢をスクロールする(矢印キーは前進および後退スクロールが可能)。
11. 希望のアイテムが表示されたら、[OK] を押します。
12. コントローラ表示が、「chU coMPLEtE」(変更完了)になります。[↵] キーは、明るくなったままです。
13. [↵] キーを3回押して、本キャビネットをこの選択されたメニューでの運転に復帰します。



このキャビネットでは、「Breakfast」(朝食)メニューが表示されています。

***注:** 列温度を変更するメニュー アイテムは、左列位置に導入される必要があります。中央および右側位置のアイテムは同一の温度である必要が有ります。左側位置と同等でない温度であるメニュー アイテムは、商品をスクロールした場合に表示されません。

単一の列でのメニュー変更

1. 目的の列で列モード ボタンを押します。
2. [oFF](オフ) および [cLEARn](クリーン) を含んだメニュー選択肢が、ボタンを押すごとに表示されます。
3. 目的のメニュー選択肢が表示されたら、キーパッド上の [OK] を押します。
4. コントロール表示は以前のメニューから「MIXEd」(混合メニュー) へと変わります。



列モード ボタンを押すことで(矢印を参照)、メニュー選択肢の順序が現れます。その列の目的のメニューが表示されたら、上部キーパッド上の [OK] ボタンを押します。

メニュー アイテムの追加、変更あるいは削除

1. プログラム ボタンを押します。
2. 「EntEr AccESS SEQUEncE」(アクセス順序を入力)が表示されます。
3. 「1955」を入力します。
4. アイテム表示に隣接するタイマー ボタンを押します。
5. 本キャビネットの表示が、「Add ItEM」(アイテムを追加)、「ChG ItEM」(アイテムを変更)、「dEL ItEM」(アイテムを削除)になります。
6. キーパッドは、「SELEct tASH」(タスクを選択)を表示します。

以下に各タスクの指示の詳細を示します:

新規アイテムの追加

本キャビネットがアイテム モードの場合、「Add Item」(アイテムを追加) 表示の横のタイマー ボタンを押します。表示部の左側の段は以下ようになります。

- 「Item Name」(アイテム名)
 - 「Top Temp」(上部温度)
 - 「Bot Temp」(下部温度)
 - 「Hold Time」(保持時間)
 - 「Cook Now」(調理を実行)
1. [ItEM nAME](アイテム名) ボタンを押します。キーパッド表示が「SELEct SEtt InG to chAnGE」(変更する設定を選択)になります。名前の表示が「nAME nEW ItEM」(新規アイテムの名前を付ける)になります。キーパッドを使用して商品名を入力します。
 2. [OK] ボタンを押します。表示が「SELEct SEtt InG to chAnGE or PrESS oH to SAve」(変更する設定を選択または [OK] を押して保存) となります。
 3. [top tEMP](上部温度) ボタンを押します。キーパッドを使用してゆっくりと上部温度の入力を行います。
 4. [OK] ボタンを押します。表示が「SELEct SEtt InG to chAnGE or PrESS oH to SAve」(変更する設定を選択または [OK] を押して保存) となります。
 5. [bot tEMP](下部温度) ボタンを押します。キーパッドを使用してゆっくりと下部温度の入力を行います。



プログラム モードにおいてアイテムの選択肢が選ばれた場合に、[ADD ITEM](アイテムの追加)、[CHG ITEM](アイテムの変更) および [DEL ITEM](アイテムの削除) が表示されます。



アイテム モードでいずれかのオプションを選択している場合に上で示される表示が現れます。

***注:** 93°C を超えるおよび 73°C より低い温度は入力できません。いくつかの番号付きキーは、より大きなまたは小さな数字の入力を防ぐために、最高または最低温度に設定された温度で使用不能となります。

6. [↵] ボタンを押します。表示が「SELEct SEt INg to chAnGE or PrESS oH to SRAE」(変更する設定を選択または [OK] を押して保存) となります。
7. [hold t iPE](保持時間) ボタンを押します。キーパッドを使用して本キャビネット内で保持される商品の保持時間を入力します。
8. [↵] ボタンを押します。表示が「SELEct SEt INg to chAnGE or PrESS oH to SRAE」(変更する設定を選択または [OK] を押して保存) となります。
9. [cooH noW](調理を実行) ボタンを押します。キーパッドの表示が「chAnGE ItEM」(アイテムの変更) になります。キーパッドを使用して本キャビネットがカウントダウンの時間を入力すると「cooH noW」(調理を実行) の警告が表示されます。
10. [OK] を押します。表示が「SELEct SEt INg to chAnGE or PrESS oH to SRAE」(変更する設定を選択または [OK] を押して保存) となります。
11. [OK] を押します。表示が、「chG coMPLEtE」(変更完了) になります。
12. キーを一度押して、「ItEMs」(アイテム) から始めて、別の商品を入力します。
[↵] キーを二度押して本キャビネットを運転モードに復帰してプログラムを終了します。

アイテムの変更

本キャビネットがアイテムモードの場合、「CHG Item」(アイテムの変更) 表示の横のタイマー ボタンを押します。

本キャビネット表示が、各アイテム名にて埋められました。

変更されるべきアイテムの横のタイマー ボタンを押します。

本キャビネットの表示は以下のようになります：

- 「ItEM nAME」(アイテム名)
- 「tOP tEMP」(上部温度)
- 「bot tEMP」(下部温度)
- 「hold t iPE」(保持時間)
- 「cooH noW」(調理を実行)

変更するパラメータの横のタイマー ボタンを押して、「新規アイテムの追加」セクションで示されるステップにしたがってその商品の1つ以上の保持パラメータを変更します。キャビネットが運転モードに復帰するまで、[↵] を押します。

アイテムの削除

本キャビネットがアイテムモードの場合、「Del Item」(アイテムの削除) 表示の横のタイマー ボタンを押します。

本キャビネット表示が、各アイテム名にて埋められました。

明るくなっている [◀▶] キーにて、追加の名前にスクロールします。

削除されるアイテムの横のタイマー キーを押します。

本キャビネットの表示は以下のようになります：

- 「ItEM nAME」(アイテム名)
- 「tOP tEMP」(上部温度)

*注：必要な場合は、キーパッド上の[◀▶] キーにて、追加の表示されているアイテムにスクロールします。



メニュー アイテムが表示されているキャビネット。削除されるべきアイテムがタイマーキーで選択されています。この削除はコントローラ上の [OK] キーで確認されます。

UHC-HD

- 「bot tEMP」(下部温度)
- 「hoLd tIME」(保持時間)
- 「cooK PorE」(調理継続)

コントローラは、「dELEtE ItEM」(アイテムの削除)を表示します。

キーパッド上の [OK] を押します。

キーパッドの表示が、「chAnGE coMPLEtE」(変更完了)になります。

[↻] キーを押してキャビネットを運転モードに復帰します。

言語の変更

1. 本キャビネットがプログラムモードの場合、「LoCAL」ロケール表示の横のタイマー ボタンを押します。
2. 左側のキャビネット表示が、「LANGUAG」言語および「dEGrEES」温度数)になります。中央の表示は現在の設定を示します。
3. [LANGUAG](言語) ボタンを押します。
4. 本キャビネットの各表示が、言語の選択肢にて埋められました。必要な場合は追加の言語の選択肢にキーパッド矢印にてスクロールします。
5. 上部左側表示は、現在の言語を示します。
6. 目的の[Language](言語) ボタンを押します。選択された言語は上部左側位置に表示され、すべての他の部分は空白となります。
7. [OK] を押します。
8. [↻] キーを押してキャビネットを新規言語で運転モードに復帰します。



キャビネットが「LoCAL」(ロケール) 表示を表しています。

「Language」(言語) に隣接するのが現在の言語の選択です、温度に隣接しているのが現在の温度範囲です。

プログラムモードに移行するプログラム ボタンを押します。「EntEr AccESS SEQUENC」(アクセス順序を入力) が表示されます。「1955」を入力します。[OK] キーを押します。

温度範囲表示の変更

1. 本キャビネットがプログラムモードの場合、「LoCAL」(ロケール) 表示の横のタイマー ボタンを押します。
2. 左側のキャビネット表示が、「LANGUAG」(言語) および「dEGrEES」(温度数) になります。これに隣接する表示は現在の設定を示します。
3. 「LANGUAG」(言語) および「dEGrEES」(温度数) が隣接するスロット上に現在の設定で示されます。
4. 「dEGrEES」(温度) の横のタイマーを押します。
5. 「RhrEnhE It」(華氏) および「cELS IUS」(摂氏) が交互に表示されます。
6. 目的のスケールに隣接するタイマー キーを押します。



「dEGrEES」(温度数) に近接するタイマーを押すことで、上で示される表示が現れます。目的の温度範囲の横のタイマー ボタンを押します。

UHC-HD

7. 選択された温度数は、上部左側位置に表示され、すべての他の部分は空白となります。
8. キーパッド上の [OK] を押して選択を確認します。
9. [↶] キーを押して新規温度スケールでキャビネットを運転モードに復帰します。

[SEttingS](設定)

「Settings」(設定) メニューはいくつかにオプションを導入します:音量レベル調節、列位置表示に残余保持時間を追加する表示調整、McDonalds の Web ベースのキャビネット構成サイトからの構成のインポート、その他のキャビネットで使用するために構成ファイルをエクスポートすることです。また、ソフトウェア バージョンを表示することもできます。この機能は、本キャビネット上に表示される順番に以下で説明されています。



音声

1. 本キャビネットがプログラムモードの場合、「SEttingS」(設定) 表示の横のタイマーボタンを押します。
2. 上部左側に現在の音声設定が表示されます、他の音声レベルはすぐ下の列の位置に表示されます。
3. キーパッド表示部は指示をスクロールします。
4. 目的の設定に隣接するタイマー キーを押します。
5. 上部左側に選択された設定が表示され、すべての他の部分は空白となります。
6. [OK] を押して選択を確認します。
7. 後退の矢印キーを押してキャビネットを新規音声レベルでの運転に復帰します。

プログラムモードに移行する

プログラム ボタンを押します。
「EntEr AccESS SEQUEncE」(アクセス順序を入力)が表示されます。
「1955」を入力します。
[OK] キーを押します。

表示

1. 本キャビネットがプログラムモードの場合、「dISPLAY」(表示)に隣接するタイマー ボタンを押します。
2. 「dSP ModE」(表示モード)が上部左側に表示され、現在の表示設定 - 「FULL」(完全商品名)または「Short」(省略商品名) - が上部中央に表示されます。キーパッド表示部は指示をスクロールします。



上部位置は現在の選択を表示します。下の明るいボタンは選択肢です。

UHC-HD

「FULL」(完全商品名)は商品の完全な名前を表示します。「Short」(省略商品名)は省略商品名と残存保持時間を表示します。

3. 「dSP ModE」(表示モード)に隣接するキーを押します。
4. 上部位置は現在の設定をスクロールし、そのすぐ下の位置は「FULL」(完全商品名)および「Short」(省略商品名)になります。
5. 目的の表示モードに隣接するタイマーキーを押します。
6. 上部左側に選択された設定が表示され、すべての他の部分は空白となります。
7. [OK]を押して選択を確認します。
8. 後退の矢印キーを押して変更済み表示での運転に復帰します。



「SHORT」(省略商品名)モードの表示では、アイテム名および残存保持時間が常に表示されます。いくつかのアイテム名は省略されます。

インポート

1. 本キャビネットをプログラムモードにし、McDonald'sのWebベースのプログラムサイトから取得した、または別のキャビネットからエクスポートされたキャビネット構成が入っているフラッシュドライブを挿入します。
2. 「iPort」(インポート)の横のタイマーを押します。
3. 本キャビネットの列位置が、このフラッシュドライブ上のキャビネット構成ファイルで入力されます。
4. 目的の構成に隣接するタイマーキーを押します。
5. 選択済みのファイル名が上部左列位置に表示されます。その他の列の位置は空白となります。表示がスクロールし、[OK]を押して確認します。
6. [OK]を押します。
7. 「chū cōMPLEtE」(変更完了)が表示されます。
8. [↶]を押してプログラムから抜け出し、本キャビネットを通常運転に復帰させます。



フラッシュドライブ上のキャビネット構成ファイル名は、構成をインポートする場合に本キャビネット上(上部)で表示されます。構成は、隣接する[Timer](タイマー)ボタンを押すことにより選択されます。そのファイル名は、上部左側位置に表示されます(下部に図示)。すべてのタイマーボタンは消灯し、すべてのその他の列位置表示は空白となります。

注：*Web ベース ソフトウェアへのアクセスおよびその使用のための指示は McDonalds により独占的に管理されています。

連絡先:Glen Schackmuth

電話: +1-630-623-2154

電子メール: Glenn.Schackmuth@us.mcd.com

*注: これらのファイル向けにはコードルーチン、Web 作成済みファイル向けの Web ベースルーチンを使用すること。

エクスポート

1. 本キャビネットをプログラムモードにし、フラッシュドライブを挿入します。
2. 「EXPORT」(エクスポート) の横のタイマーを押します。
3. 上部左側列ボタン位置が点灯し、「Master Display」(マスター表示) 画面が「ENTER EXPORT FILE NAME」(エクスポート ファイル名を入力してください) をスクロールします。
4. キーパッドで対象のファイル名を入力します。文字が明るいボタンの横に表示されます。(これは対象のファイルに付けられる名前であり、ファイルはこのフラッシュドライブからインポートされるため、これはフラッシュドライブのルートおよびキャビネット上で表示されるようになります。)
5. [OK] を押します。
6. 「CHANGE COMPLETE」(変更完了) が表示されます。
7. [ESC] を押してプログラムから抜け出し、本キャビネットを通常運転に復帰させます。



本キャビネットからファイルをエクスポートする場合、ファイル名を付ける必要が有ります。

バージョン

1. 本キャビネットをプログラムモードにし、「VERSION」(バージョン) に隣接するタイマー ボタンを押します。
2. 「FIRMWARE」(ファームウェア) が上部左側列に表示され、そのバージョン番号がそのすぐ右側に表示されます。「USB」(USB) が2番目の左側列位置に表示され、そのバージョン番号がそのすぐ右側に表示されます。
3. [ESC] を押してプログラムから抜け出し、本キャビネットを通常運転に復帰させます。

クリーニングおよび予防保守

毎回使用後 - トレー/ラックの洗浄

1. すべてのプラスチックおよびワイヤー トレーをはずします。トレー/ラックを洗浄のためにシンクに運びます。
2. 熱した *McD All-Purpose Super Concentrate (APSC) (MaD 全用途超濃縮) (HCS)* をシンク プロポーショナーを通して流し込んだあるいは 10 ml を混合した熱い溶液でトレー類を洗浄します。3.8 リットルの溶液毎に *McD APSC (HCS)*。熱水中にてトレー類/ラック類を念入りにすすぐこと。
3. トレー類/ラック類を、少なくとも 1 分間は、*McD シンク 消毒剤 (HCS)* 溶液（水 38 リットルあたり 1 パック）溶液中あるいは *McD 消毒剤 (HCS)* 溶液（水 38 リットルあたり 4 パック）溶液中に浸して消毒を行うこと。消毒剤溶液を取り除いて、自然乾燥させます。

日課 - キャビネットの洗浄

1. 1 日の運用の終了後、ユニットを「Clean Mode」（クリーン モード）に移行します。3-3 ページのステップにしたがいます。

注： *McD シンク 消毒剤 (HCS)* を使用して本ユニバーサル ホールディング キャビネットの外装を洗浄しないでください。

2. 「SLOT CLN MODE」（スロット クリーン モード）表示が暗くなるまで本ユニットを冷却させます。ブラシを使用して、本キャビネット反対側から小片を押し出すことで、スロット上で残留しているあらゆる堆積物を取り除くこと。

注：キャビネットスロットの清掃にはキャビネット清掃ブラシのみを使用すること。ワイヤーブラシ、磨きパッド、あるいは金属へら等は、本キャビネットスロット表面を永久的に損傷します。

注： *McD (APSC) (HCS)* 以外の洗浄剤を使用しないでください。他の混合物の使用は、コントロール部品類の損傷を招く恐れがあります。

3. キャビネット清掃ブラシにて、すべてのこぼれている小片を本キャビネットの反対側から押し出します。
4. 濡れた、清潔な/消毒済みのタオルおよびキャビネット清掃ブラシを使用して各スロットを清掃します。各スロットの下部および上部表面を清掃します。

UHC-HD

5. McD ASPC (HCS) に浸した清潔な消毒済みのタオルにてすべてのキャビネット表面のふき取り清潔にします。
6. 本ユニットをオフにします。



発送宛て先 :

電話 +1-318-865-1711 ファックス (部品) +1-318-219-7140 ファックス (技術サポート) +1-318-219-7135

アメリカ合衆国で印刷

サービス ホットライン
+1-800-551-8633

価格 : \$6.00
819-6595
FEB 12